

名古屋商工会議所 環境行動計画（2016－2018）

平成28年3月

名古屋商工会議所

目 次

1. 環境行動計画の概要

- (1) 環境行動計画とは
- (2) 環境行動計画のねらい

2. これまでの取り組み

- (1) 第1活動期間（2010～2012年度）の取り組みの概要
- (2) 第2活動期間（2013～2015年度）の取り組みの概要

3. 第3活動期間（2016～2018年度）の取り組み

(1) 基本的な考え方

○活動テーマ

○新規および重点活動

(2) 主な取り組み内容

環境行動計画（2016－2018）の概略図

<参考> 会員企業の環境への取り組みに関するアンケート調査結果（抜粋）

1. 環境行動計画の概要

(1) 環境行動計画とは

「名古屋商工会議所 環境行動計画」は、名古屋商工会議所の会員数の大多数を占める中小・小規模企業が主体的に環境行動に取り組むことができるよう、事業活動に「環境」の要素を取り入れることで具体的な経済メリットを得て、「環境と経済の両立」を実感できる仕組みづくりを目標としたアクションプランであり、2009年12月に策定された。

(2) 環境行動計画のねらい

企業には、①「環境と経済の両立」への気づき、②省エネ、生物多様性への取り組み、環境に関する社内体制作りなどの具体的な環境行動、③評価・改善・普及のサイクルを好循環させることをねらいとしている。

2. これまでの取り組み

(1) 第1活動期間（2010～2012年度）の取り組みの概要

- 会員企業の交流研鑽組織として「名商e c oクラブ」を2010年10月に設立し、環境に関連する勉強会・視察会や会員相互の交流会などを開催した。
- C O P 1 0 の名古屋開催を受けて、中小企業向けの「事業活動と生物多様性ガイドブック」を作成し、生物多様性保全の普及啓発を実施した。
- その他、省エネ関連のセミナー開催やC O 2 チェックシート（WEB）などにより、会員企業の環境行動を促進する機会を提供した。

(2) 第2活動期間（2013～2015年度）の取り組みの概要

- 2014年11月に開催されたE S Dユネスコ世界会議にあわせ、環境教育の事例集「企業が取り組む環境教育～E S Dの普及に向けて～」を作成し、中小企業の環境教育の普及啓発を行うとともに、環境省やE P O中部と連携してE S Dフォーラムを開催した。
- 名商e c oクラブでは、「省エネ実践」に加え、新たに「リサイクル・モノづくり」「自然共生」のテーマグループを設置し、セミナー・視察会などを精力的に実施するとともに、会員以外も参加できる環境ビジネス交流会や環境講演会などを開催した。また、メッセナゴヤを活用し、会員共同でのブース出展や環境ビジネスプレゼン大会を行い、販路拡大やビジネス連携の機会を提供した。
- 環境ビジネス参入事例セミナー、国・県・市と連携した省エネ・環境施策説明会などにより、3 Rや省エネ・節電に関する環境行動支援を促進した。また、EMS（環境マネジメントシステム）の普及や、環境法規制に関するセミナーなど、環境経営を行う体制作りを支援した。その他にも、産学連携による省エネルギー技術開発動向の紹介やスマートシティ、海外環境ビジネスに関する情報提供を行った。

3. 第3活動期間（2016～2018年度）の取り組み

（1）基本的な考え方

○活動テーマ 「環境行動の深化とネットワークのさらなる拡充」

- ・2016年度からの3ヶ年を第3活動期間と位置づけ、過去2期間における会員企業の環境への取り組みの進展を踏まえ、「環境行動の深化とネットワークのさらなる拡充」をテーマに活動を展開する。
- ・従来からの活動に環境・エネルギー政策の変化を捉えた新たな活動を加え、本所からの情報発信を強化するとともに、環境ビジネス促進に繋がる機会の提供などにより、企業の環境行動をさらに深化させる。また、名商e c oクラブを活用したネットワーク拡充の機会を提供する。
- ・会員企業を対象としたアンケート調査結果によると、中小企業における環境への取り組みについては、依然として拡充余地が大きいことから、本業を通じた環境取り組みによるメリットをWEBなどを利用し情報発信する。

○新規および重点活動

（※新規：下線、重点：ゴシック）

①省エネ・創エネの促進支援

- ・2015年7月に策定されたエネルギーミックス（長期エネルギー需給見通し）を踏まえ、オフィスや工場等におけるエネルギーマネジメントの徹底やZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）の普及促進による省エネルギーのさらなる深掘り、FIT（固定価格買取制度）見直しを受けた再生可能エネルギーや地域の強靱化に資する分散型エネルギーといった創エネルギーの普及促進、さらには、将来的な水素社会の到来を見据え、水素の製造、輸送・貯蔵、利用に関する水素社会関連技術の情報提供を行う。

②企業の環境人材育成支援

- ・当地で開催されたESDユネスコ世界会議（2014年10月）の成果を活かし、企業における環境教育の普及・定着を図るため、企業の環境人材育成支援に取り組む。特に、昨年新たに設置した「環境分野における女性活躍推進WG（略称：名商エコ女WG）」を中心に、環境関連の多様なフィールドで活躍する女性に焦点を当て、環境意識の啓発や環境人材ネットワークの拡充につながる活動を展開する。

③海外環境ビジネス展開支援

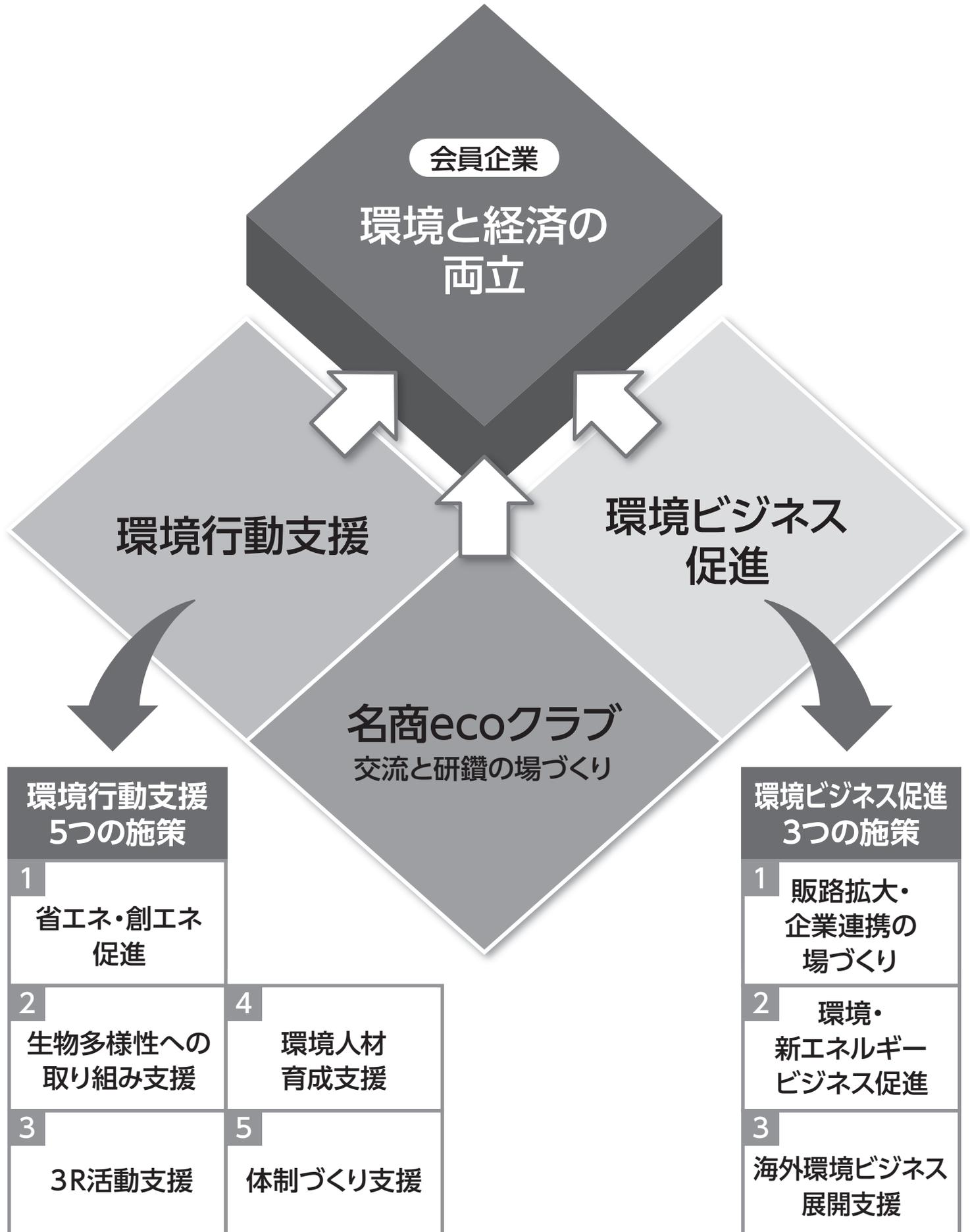
- ・今後もさらなる成長が見込まれる東南アジアを中心に、海外での環境ビジネス展開に役立つ講演会・セミナーなどを外部の関係機関や有識者などと連携し開催する。環境負荷低減に資する製品や優れた環境技術の海外展開を指向する事業拡張意欲のある中小企業を側面支援する。

(2) 主な取り組み内容

(※新規：下線、重点：ゴシック)

	テーマ名	主な取り組み内容
環境行動支援	省エネ・創エネ促進	○BEMS・FEMSを活用したエネルギーマネジメント、太陽光やバイオマス等の再生可能エネルギー、コージェネレーションなど高効率機器・設備の導入事例及び関連補助金等の紹介による省エネ・創エネのさらなる促進 ○ <u>水素の製造、輸送・貯蔵、利用に関する最新技術の情報提供</u>
	生物多様性への取り組み支援	○愛知ターゲットを踏まえた関係機関の取り組み状況、企業による森林保全やビオトープを活用した生態系ネットワーク形成などの取り組み事例の情報提供を通じた生物多様性保全の普及促進
	3R活動支援	○3R活動（リデュース・リユース・リサイクル）に関する関係法令の周知、業界毎の先進企業の取組事例の紹介やリサイクル関連施設の視察会を通じた資源循環の促進支援
	<u>環境人材育成支援</u>	○環境分野における女性活躍推進WGの活動を通じた、勉強会・視察会の企画運営による人的ネットワークの形成と知識習得によるキャリアアップ ○ <u>企業の環境部門等で活躍する女性の紹介冊子の作成やシンポジウム等の開催による女性活躍推進に関する情報発信</u>
	体制づくり支援	○ISO14001改定など環境経営の基盤となるEMS構築や環境法規制関連の情報提供を通じたマネジメント体制づくりの支援
環境ビジネス促進	販路拡大・企業連携の場づくり	○日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ」を活用した販路拡大・企業連携促進の支援 ○他地域の環境ビジネスフェア・展示会等の情報提供や参加支援
	環境・新エネルギービジネス促進	○再生可能エネルギーを活用した地域創生の取り組みや環境分野におけるビジネス展開事例などの情報提供 ○環境・エネルギー分野の有識者による電力・ガス自由化をはじめとする最新動向の情報提供 ○産学官連携を通じた環境技術の紹介を通じた環境ビジネス参入企業とのマッチング機会の創出
	海外環境ビジネス展開支援	○JICA中部や中部経済産業局と連携した東南アジアを中心とする発展途上国の環境ビジネス情報やマッチング機会の提供による海外環境ビジネス展開の支援
名商ecoクラブ	会員相互の交流と研鑽の場づくり	○自治体や他の環境活動団体との連携を強化し、会員企業のエコプロダクツ・サービスを紹介する環境ビジネス交流会の開催 ○メッセナゴヤにおける名商ecoクラブブースの出展継続や会員企業のPR機会の提供 ○環境情報メール便（メルマガ）を活用した活動内容に関する情報発信の強化

環境行動の深化とネットワークのさらなる拡充



会員企業の環境への取り組みに関するアンケート調査結果(抜粋)

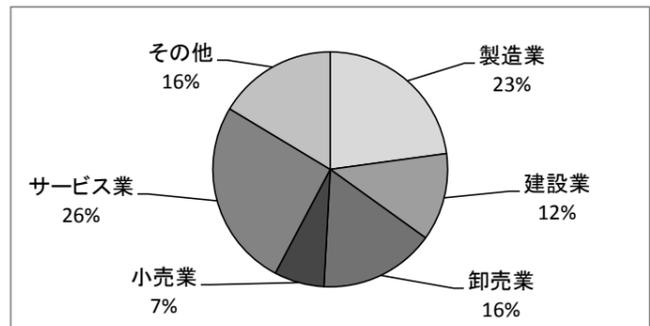
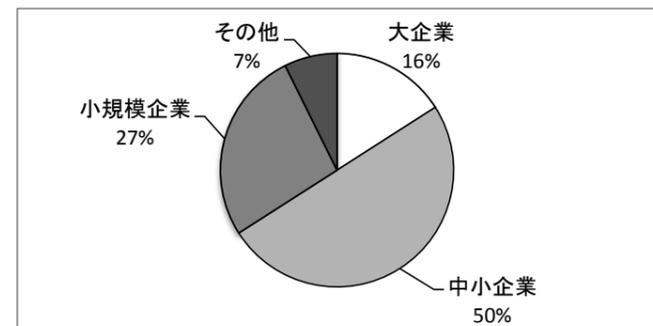
○実施期間:2015年9月3日~25日 ○対象:名商会員企業(メルアドあり)10,467件 ○回答数:232件(回答率2.2%)

○回答企業基本情報

＜規模＞	
大企業	37
中小企業	116
小規模企業	62
その他	17

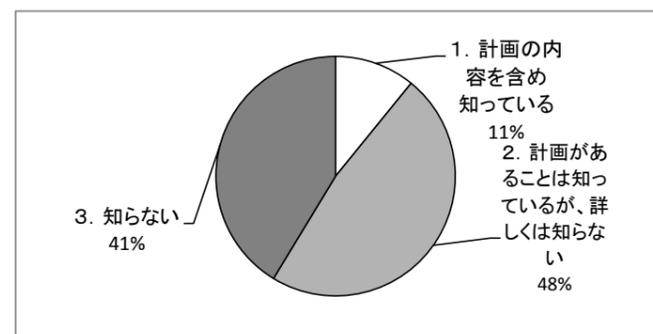
＜業種＞

製造業	53
建設業	28
卸売業	37
小売業	16
サービス業	60
その他	38



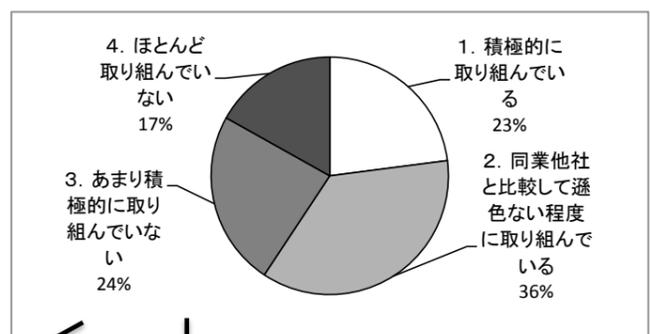
■名古屋商工会議所では、環境行動計画(2013~2015)を策定し、会員企業の環境への取り組みを支援していますがご存知ですか。

1. 計画の内容を含め知っている	25
2. 計画があることは知っているが、詳しくは知らない	110
3. 知らない	95



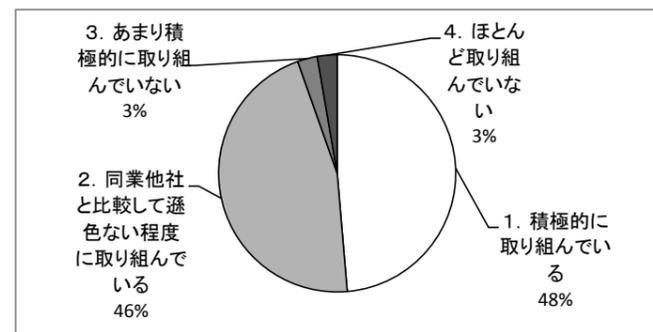
■貴社の環境への取り組み状況について、該当する項目を選んでください。

1. 積極的に取り組んでいる	53
2. 同業他社と比較して遜色ない程度に取り組んでいる	84
3. あまり積極的に取り組んでいない	55
4. ほとんど取り組んでいない	39



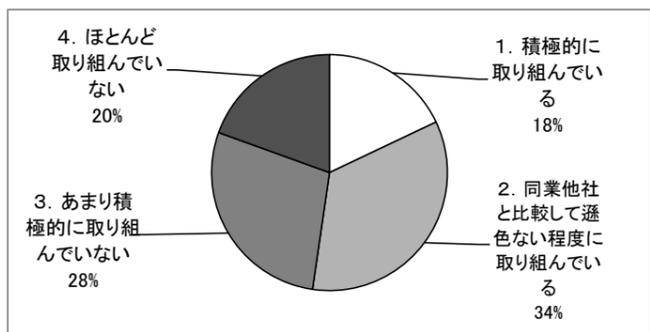
うち、大企業のみ

1. 積極的に取り組んでいる	18
2. 同業他社と比較して遜色ない程度に取り組んでいる	17
3. あまり積極的に取り組んでいない	1
4. ほとんど取り組んでいない	1

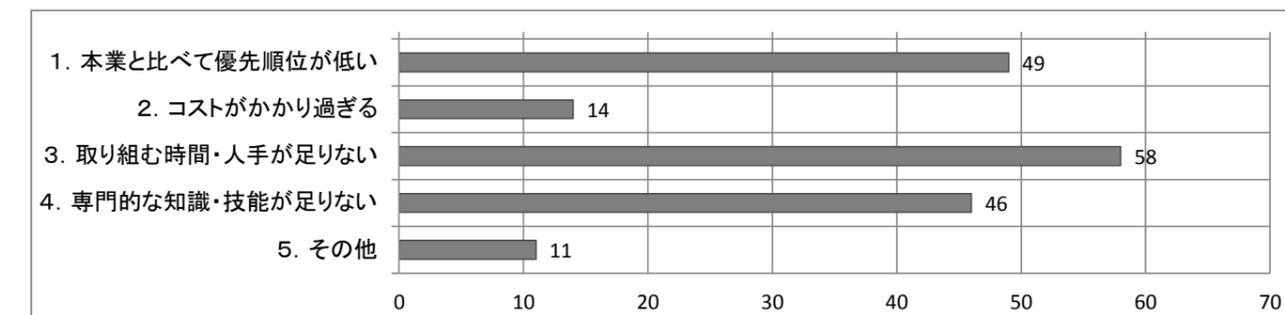


うち、中小企業のみ

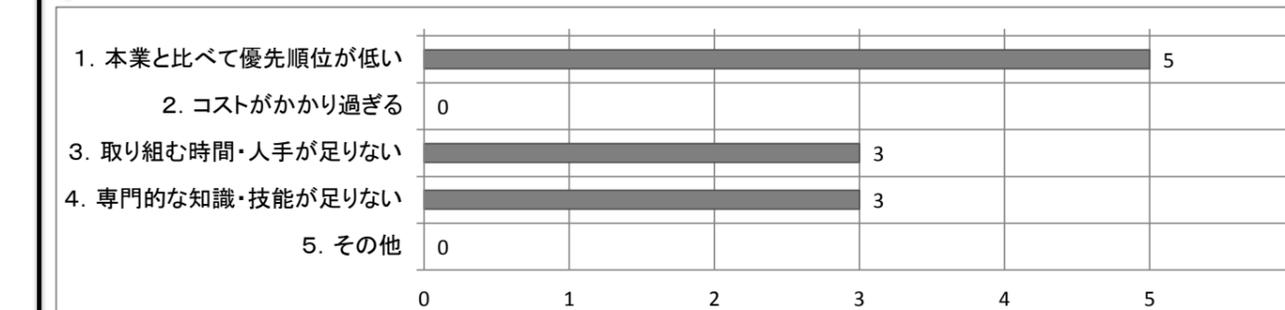
1. 積極的に取り組んでいる	35
2. 同業他社と比較して遜色ない程度に取り組んでいる	67
3. あまり積極的に取り組んでいない	54
4. ほとんど取り組んでいない	38



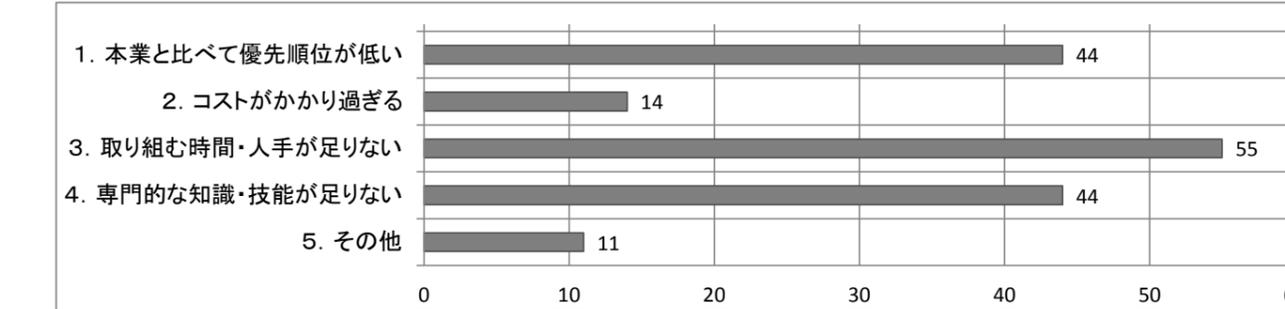
■環境への取り組みが進まない主な理由は何ですか。
※前問で自社の環境への取り組みについて「3」または「4」と回答した企業のみ。複数回答可。



うち、大企業のみ



うち、中小企業のみ



■名古屋商工会議所の環境関連事業に関して、ご意見・ご要望があれば自由にご記入ください。(抜粋)

- ・環境に関する取組に対する知識が不足している。企業にとってどの程度の環境改善に取り組むべきかを、講演・セミナー等の開催を通じて周知して欲しい。
- ・中小零細企業への浸透は、やはりメリット感(この場合は企業価値向上が企業の差異性につながることを)を如何に伝えていくことが重要。
- ・大企業の場合の環境活動は社会的使命が大きいですが、中小企業の場合はどうしても成果が求められる現状があります。そのあたりのさじ加減が難しいかなと思う。
- ・環境関連事業への支援策として、名古屋商工会議所の取り組みはユニークかつ、素晴らしいものだと常々思っています。
- ・日本のエネルギー需給構造の変化は、各業界へ大きな影響をもたらす。中小企業にとっては、その変化に十分な対応が出来ない、どうしてよいか分からないというのが現状。
- ・(特に中小・中堅企業にとって)魅力的な勉強の場、交流の場、情報交換または情報入手の場、事業機会の場を作っていただきたい。
- ・中小企業の場合は、産官学の交流機会や、自社事業では会えない様な異業種との接点機会は魅力がある。